

JR長崎駅（長崎市）

前に米系ホテル「ヒルトン長崎」が昨秋開業した。

運営を担う松藤グループは石油輸送を中心に自動車販売店や再生可能エネルギー事業なども展開する。グループ代表で、中核会社松藤商事の松藤章喜社長に多角化経営の狙いを聞いた。

——石油製品輸送では九州でトップシェアです。

「創業者の松藤渉が1943年に長崎市で海運業を立ち上げた。50年代から60年代にかけて石油の輸送網を広げて事業規模を拡大してきた。現在は5隻の大型タンカーを運航し、全国で石油を運んでいる。山口県以西、九州各地で石油備蓄用基地を運営し、そこからガソリンスタンド大手などの顧客に陸送で石油を届けている。九州内のコンビナートの防災事業も手掛けている。石油輸送と陸運を合わせたグループ主要部門の売上高は約190億円だ」

——ヒルトン長崎の運

# ヒルトン、長崎発展に貢献

## 松藤 章喜氏



まつふじ・あきよし 長崎市生まれ。米シシガン州立大院卒。2003年松藤商事入社、11年から現職。

## 松藤グループ代表

グループ概要	
本社	長崎市（松藤商事）
創業	1943年
資本金	4億9700万円（グループ総計）
従業員	1050人

## 戦略

## トップに聞く

営も担います。

「滑り出しは順調だ。

大規模の宴会や懇親会の動きは鈍いが、地元客を中心にレストランの稼働率は高い。長年磨いてきたホスピタリティと、鮮魚から肉料理、野菜まで

長崎の食の魅力を生かして、国内外の顧客の開拓に知恵を絞っていく」

「ホテル経営は初めてではない。2000年にグラバー園（長崎市）近くのホテルを買収し、『ANAクラウンプラザ長崎グラバーヒル』として営業している。企業理念として『地元の発展に役立つ』を掲げている。ヒルトン長崎は国際会議場を備えたMICE施設・出島メッセ長崎に隣接し、

国際都市・長崎のランドマークでもある。長崎でホテル事業を通じて地域に貢献したい」

——多角経営の利点

## 多角経営、多様な人材強み

「一般に水商売とみられがちな宿泊業と、石油輸送を営むので『水と油の会社』といわれることもある。水と油はそのままでは混ざらないが、ビジネスでは一定の手応えを感じている。高級車デ

「長崎を訪れる陸運や海運の顧客にホテルに泊まってもらうと、『しっかりした会社だ』と認めもらえる。グループ内に有名ホテルがあることで社員のプライドも高まる。グループ内に多様な人材が働く利点も大きい。変化の激しい時代に足腰の強い組織をつくり上げるには人材育成が不可欠だ」

（聞き手は若杉敏也）

# 九州

支局

西部編集部 092-4713-333048  
北九州 093-5711-61048  
佐賀 095-2231-45971  
熊大長